



8月 令和3年8月2日 ちびっこの森通信 vol.189

☆☆今月のテーマ☆☆

- ・夏ならではの水遊びを楽しみ、水に慣れる。
- ・汗をかいた時は着替えや水分補給を心掛ける。



～今月の園内学習～



- ・足し算…8の段
- ・掛け算…8の段
- ・数字カード…1～20の数字
- ・食べ物カード…今月の旬な食べ物
- ・漢字カード…小学校1学年で習う漢字30

- ・歴史カード…「坂本龍馬」ほか
- ・ひらがなカード…「や行」
- ・国旗カード…メキシコほか北アメリカ各国
- ・地理カード…北海道ほか東北地方
- ・声に出して読みたい日本語…論語ほか
- ・英会話…動物、曜日、季節の種類
- ・絵画カード…「目を閉じて」他

習う漢字30

- ・魚への漢字…「くじら」「さめ」
- ・木への漢字…「ひいらぎ」「たぶのき」



♪今月の歌♪

◇うたえバンバン

◆とんでいったバナナ

～行事予定～

- ・避難訓練…18日
- ・リズム…3日〔年少〕
- 30日〔年中・年長〕
- ・体操教室…25日〔年少〕
- 20日〔年中・年長〕
- ・書道教室(年長)…5日・19日・26日
- ・英語教室…おやすみです☺
- ・お誕生日会…27日
- ・身体測定…26日



★生活リズムを整えましょう★

今夏も昨夏同様、コロナ禍で巣ごもりサマーとなりそうです。ただ、お休みの生活リズムが変わると体調不良の原因ともなりかねません。適度な運動、十分な栄養補給と安息を採り入れ、元気に過ごしていけるようにしましょう!!

さくら組だより



先月のメインイベントは「七夕会」。こどもたちはその日に向け、精力的な製作活動に取組みました。まずは、「ハサミ使い」からスタートです。これは持ち方など使い方を誤ると大怪我のもとになりかねません。みんなが正しく安全にハサミをえるように(使用時は)保護キャップを持ち、(決して刃先を)人に向けない、(チョキチョキするのは)紙だけ、といったお約束事を確認した上で活動をはじめました。こどもたちも「はさみ」のことを理解したようで慎重かつ真剣な取扱いをしていたのは何よりでした。ただ、実際の作品づくりでは「チョキチョキ」→「ストップ」のタイミングが思うようにいかず「あっ、しまったぁ～」と落ち込むようなことしばしばだったよう。これもそれもいい体験となり、さらに上手になっていくことでしょう。そして、待ちに待った七夕会の当日には、お家の方と一緒に考え、したためた「大きくなったら〇〇になりたい!」、「お箸が上手に使えますように」や「新幹線に乗りたい」など、みんなの一人の思いのこもった願いごとが込められた短冊や他の飾りを笹に飾りつけていき、その後の催しなどを楽しみ、みんなでこやかに過ごしました。今月は猛暑や台風などで厳しい時季となりそうですが、熱中症対策で細やかな水分補給や水遊び等で元気に過ごしていきたいと思います。



ひまわり組だより



梅雨明けを待ってましたとばかりに蝉の大合唱が毎日、繰り広げられるようになってきましたね。みんなは耳を澄まし、「ジージー」や「ミーンミーン」と蝉たちの声色分析に余念がありません。梅雨明け前後、突然襲い掛かって来た大雨には驚かされましたが、まずは室内の沐浴からはじまり、梅雨明け後は戸外の水浴びで夏本番の厳しい暑さを凌いでいます。昨夏までは確か「水回避一辺倒」の子がプール解禁初日から「頭から水かけてえ～!」と積極的に水に馴染み、他の水大好き派と交じって和気藹々と遊ぶ様は改めて成長を感じさせてくれます。それから、みんなは目下のところ給食時の最後の段階で茶碗にこびりついたご飯粒をしっかりと集め、食べることに取り組んでいます。少し前までは、保育士に「あつまれしてえ～!」と集めてもらい、(ついでに)お口の中に入れてもらう、のに徹していたように見受けられたのですが…1つ上のゆり組の先輩たちの影響もあったのでしょうか、ある日自分でやる子が出てきたと思ったら、あとは右へ倣えで少しずつ一人ひとりが取組むようになってきました。このようなちょっとしたきっかけから意識の変化がもたらされ、行動が変わっていき、成長を促されるのはいいことです。ただ、これも一筋縄ではいきませんのでこれからもよく見守っていききたいと思います。



ゆり組だより



本格的な夏の到来で頬を汗が伝い、「あつ～い!」の言葉が蝉の泣き声のように聞こえてくるようになってきました。こんな時は、何を置いても水遊びで「涼」を取るのが一番とばかりに室内で水浴びがスタートしました。その後の戸外で始まった本格的な水遊びは、水着の見せ合いっこから始まり、(プールの代わりに)バケツの水を汲み取ったペットボトルでお互いに掛け合いごっこで大盛り上がりです。曰く、「昨年ののは、もう小さくなったから新しいのよ」や「(水対策用の)ゴーグルだよお～」と水遊び前の会話にも水遊びへの期待の大きさが窺えます。土曜日の場合は、平日の同月齢児とは違い、異年齢で遊ぶので、自然と物の貸し借りに思いやりの場面が見られるのも何よりと感じています。とはいえ、成長真っ只中にあるのは、時々ちょっとしたトラブルも発生しがち。そんな時、お友だち同士間で気を静め、言葉を交わし、冷静に対処し、解決策を導こうとするのは就学前の大事な取り組みの一つとなっています。ここは一人ひとりが違うのでケースバイケースで見守り、一人ひとりが解決力をつけられるように見守っていきようにしたいと思います。



給食だより

～そう、水は生命の源なんだ!!～



今年は例年と比べ、梅雨入りも梅雨明けも早かったようです。但し、こちらは偏西風蛇行などの気象要因から場所によっては大雨や猛暑に見舞われ、例年以上の天候が予想されますので目が離せません。これから暑さが厳しくなる夏本番となると気をつけたいのが脱水症状や熱中症予防ですね。というのも、人間の身体の6～7割は水で、夏はどうしても発汗や排泄で身体から排出し、知らず知らずの内に脱水症状に陥りやすくなっているからです。そもそも水分の必要量は、個人の代謝、環境状況、活動レベルによって大きく変わってきます。例えば、高温の室外活動で発汗すれば自然と水分補給といった行動に結びつきやすいですが、空調の効いた室内では疎かになり、意外と落とし穴となっています。そう、冷房は室内乾燥を伴い、知らない内に身体が乾燥状態になりがちだからです。ですから、水分補給は「喉が乾いたなぁ～」と感じる前に、こまめにすることが肝要で、30分から1時間おきにコップ1杯ずつ分け、飲むようにしましょう。暑い夏場は冷水を好みがちで、(大人はつつい)「キンキンに冷えた酒類は最高!」、ってなりそうですが、これは利尿作用を促し、水分が逆に排出されるので逆効果。また、冷たい飲料は胃や腸の機能低下を及ぼし夏バテの原因にもなりかねませんので極力、常温がオススメです。また、発汗で失われるのは水分だけでなく(ナトリウムやカリウム)塩分も失われがちです。スポーツ飲料を活用していきましょう。それに加え、食事でも大切な水分補給源ですからしっかりと食べ、元気になる源として摂取していく生活リズムをつけていきましょう。そうして、みんなこれから当分続く、つらく厳しい暑い夏を元気に過ごしていけるようにしましょう!!